

第5次京都府食の安心・安全行動計画における数値目標(一覧)

資料1-1

第5次計画	5次	4次	具体的な取組	目標	実績	計画比	目標	目標	(参考)コロナ禍の影響と対応 R2.8時点	主な担当課
				R1	R1	R1	R2	R3		
(1) 安心・安全な食品を提供する事業者の育成	①		HACCP、食品表示推進検討会の設置・開催(回/年)	4	4	100%	4	4	多人数の会議はせず、小規模開催とする。	農政課
	②		業種別の食品関連事業者向けHACCP研修会の開催(回/年)	25	28	112%	25		感染症対策を講じ、規模を縮小して実施	生活衛生課
	③	④	業種別の食品関連事業者向け食品表示講習会、相談会の開催(回/年)	20	26	130%	20	20	感染症対策を講じ、必要に応じて「食の府民大学(YouTube講座)(食品表示)」等、動画配信の活用を検討	農政課、健康対策課、生活衛生課
	④	④⑥	食品関連事業者内の食品表示指導者設置による自社内自主チェックの仕組み作り(登録人数)	80	80	100%	90	100	事業者の意向を確認の上、感染対策を講じた上で開催を検討	農政課
	⑤		6次産業化に取り組む生産者向け食の安全マネジメント研修会の開催(回/年)	5	8	160%	5	5	感染症対策を考慮しつつ、研修会の持ち方について関係機関と協議中	流通・ブランド戦略課
	⑥	⑦	農業講習会の開催(回/年)	6	6	100%	6	6	配付テキストやWebサイト上の動画を活用した研修方式を検討	農産課
	⑦	③⑨	農業管理指導士の養成(登録人数)	850	850	100%	875	900	受験者数の上限(例:30名)を設け、広い会場を用いて3密を回避する研修、認定試験の実施を検討	農産課
	⑧	③⑧	自主的な残留農薬分析(検体/年)	199	193	97%	199	199	通常実施	農産課
	⑨		食品トレーサビリティに関する研修会の開催(回/年)	5	5	100%	5	5	感染症対策を講じ、必要に応じてDVD、動画配信の活用を検討	農政課
(2) 持続可能な農業の推進と食料の安定供給	⑩	④④	環境にやさしい農業の取組(エコファーマーの認定件数)の拡大(件)	1670	1166	70%	1740	1800	通常実施	農産課
	⑪		農業者向けGAP実践に係る研修会の開催(回/年)	10	10	100%	10	10	通常実施	農産課 畜産課
	⑫	③⑥ ④⑦	第三者認証GAP取得件数(件)	36	31	86%	46	50	通常実施	農産課
	⑬		気象変動等にも対応した安心安全な府内産農林水産物の安定供給のための研究の実施(延べ件数)	5	6	120%	6	7	感染症対策を講じながら、気候変動に対応した生産技術の確立に向け、研究課題を遂行中	流通・ブランド戦略課
(3) 誰もが安心して食事ができる環境の整備	⑭		食に携わるボランティア向けの食の安心・安全講習会の開催(回/年)	5	5	100%	5	5	感染症対策を講じ、必要に応じて「食の府民大学(YouTube講座)(食中毒防止)」等、動画配信の活用を検討	農政課、健康対策課、生活衛生課
	⑮	②①	インバウンド等の食のおもてなし研修会の開催(回/年)	5	5	100%	5	5	感染症対策を講じ、必要に応じて動画配信の活用を検討	農政課
	⑯		食物アレルギーのある児童・生徒への個別取組プランの作成率の向上(%)	93	86	92%	96	100	学校給食衛生管理推進研修会等を開催する場合は、感染症対策を講じる等の工夫をする。感染状況によっては、書面、資料配布を検討する。	保健体育課
	⑰	①⑥ ②⑩	きょうと 健康 おもてなし 食の健康づくり応援店(登録店舗数)	800	778	97%	800	800	通常実施	健康対策課
(4) 緊急時の食の安心・安全確保のための対応力の向上	⑱		緊急時の食に関する対応研修会の開催(回/年)	5	17	340%	5	5	感染症対策を講じ、必要に応じて「食の府民大学(YouTube講座)(食中毒防止)」等、動画配信の活用を検討	農政課、健康対策課、生活衛生課
(5) 生産現場等の監視、指導	⑲	②②	農業使用者に対する使用指導(回/年)	200	234	117%	200	200	通常実施	農産課
	⑳	②④ ②⑤ ②⑥	全畜産農家に対する動物用医薬品等の適正使用指導率(%/年)	100	100	100%	100	100	通常実施	畜産課
	㉑	②⑦ ②⑧ ②⑨	全水産養殖業者に対する動物用医薬品等の適正使用指導率(%/年)	100	100	100%	100	100	職員の広域出張自粛により、影響はあるものの、方法は通常どおりで実施予定	水産課
	㉒		農業販売店への巡回調査の実施(件/年)	250	250	100%	250	250	通常実施	農産課
	㉓	②③	肥料生産業者への立入調査(件/年)	10	10	100%	10	10	通常実施	農産課
	㉔		飼料等製造業者、販売業者への立入調査(件/年)	13	13	100%	13	13	通常実施	畜産課

1  
新たな法制度に  
適応できる食  
品関連事業者  
等の育成

第5次計画		5次	4次	具体的な取組	目標 R1	実績 R1	計画比 R1	目標 R2	目標 R3	(参考)コロナ禍の影響と対応 R2.8時点	主な担当課
(6)流通段階の監視、指導	㉕	㉔		食品表示における科学的検査の実施(検体/年)	40	39	98%	40	40	通常実施	農政課
	㉖	㉓		食品表示巡回指導の実施(店舗数/年)	300	301	100%	300	300	通常実施	農政課
	㉗	㉒		食品衛生監視機動班による食品営業施設の監視指導(件/年)	40	42	105%	40	40	感染症対策を講じて実施	生活衛生課
	㉘	㉑		食品衛生法に基づく食品等の収去検査の実施(検体/年)	750	750	100%	750	750	緊急事態宣言中は検査を中止していたため、検体数が減少したが、現在は計画通り実施	生活衛生課
	㉙	㉐		野生鳥獣肉を取り扱う食肉処理施設の監視指導率(%/年)	100	100	100%	100	100	感染症対策を講じて実施	生活衛生課
2 食の信頼感向上に向けた情報の提供と 府民の食に関する選択力向上	(1)府民と食品関連事業者の 交流による相互理解の促進	㉚	㉙	きょうと食の安心・安全フォーラムの開催(回/年)	1	1	100%	1	1	実行委員会において開催方法などの見直しを検討中	農政課
		㉛	㉘	府民、食品関連事業者等との交流、意見交換(回/年)	5	4	80%	5	5	感染症対策を講じた上で実施を計画	農政課
		㉜	㉗	府の施策、取組に関する消費者団体との意見交換会の開催(回/年)	5	5	100%	5	5	感染症対策を講じた上で実施を計画	農政課
		㉝	㉖	食の安心・安全協働サポータースキルアップ研修会の開催(回/年)	5	6	120%	5	5	対象者に高齢の方が多くもあり、開催方法を検討中	農政課
		㉞	㉕	学生等による食の安心・安全ヤングサポーターの養成(延人数)	30	24	80%	60	100	オンラインによる養成講座を実施	農政課
	(2)府民の食に関する学習環境 の充実	㉟	㉜	食の府民大学の講座の拡大(講座総数)	50	57	114%	55	60	コロナの影響でライブ配信となったイベントを公開予定	農政課
		㊱	㉙	リスクコミュニケーションの開催(回/年)	20	19	95%	20	20	感染症対策を講じた上で実施を計画	農政課
		㊲	㉘	府ホームページ等において、府の施策・取組を分かりやすく紹介(回/年)	12	12	100%	12	12	通常実施	農政課
		㊳	㉗	様々な媒体を活用した適切な食情報の発信(回/年)	24	24	100%	24	24	通常実施	農政課
	(3)京都ならではの食文化の 継承と食を大切にす意識 の向上	㊴	㉕	きょうと食いく先生による食文化伝承授業の実施(回/年)	30	41	137%	40	50	感染症対策を講じ、調理実習に限らず、講演も実施	農政課
		㊵	㉒	食育実践優良事例の紹介、普及活動の実施(回/年)	6	7	117%	8	10	食育推進連絡協議会を開催する場合は、感染症対策を講じる等の工夫をする。感染状況によっては、オンライン会議、書面、資料配布を検討する。	農政課、文教課、保健体育課
		㊶	㉑	食べ残しゼロ推進店舗(飲食店版)の認定拡大(店舗数)	200	69	35%	300	380	通常実施	循環型社会推進課
		㊷	㉐	食べ残しゼロ推進店舗(食品小売店版)の認定(店舗数)	100	53	53%	150	200	通常実施	循環型社会推進課
		㊸	㉓	食育宣言を行い、健全な食生活をおくる府民(延人数)	8,000	9,714	121%	10,000	12,000	コンクールの開催中止及び宣言の場としていたイベント等の開催中止により、代替案を検討中	農政課